

年	組	名前
---	---	----

助かる犬 増やそう

別府市里親の会が「しつけ教室」



飼い主がリーダーシップを取るため、正しい散歩の仕方などを指導

「手放す前に相談して」

恵まれない犬の保護、引き取り手探しに取り組む別府市の「里親の会」（片山真喜子会長）が飼い犬の殺処分を防ごうと、市内で初の愛犬のしつけ教室を開いた。散歩の際に飼い主を「引っ張る」「ほえる」などの理由で犬を保健所に持ち込むケースは後を絶たない。正しい飼い方、しつけ方の知識を広めることで、不幸な犬を一匹でも減らそうとしている。

今月中旬に初めて開いたことを聞かない。リーダー教室では井東警察犬愛犬訓練所（宮崎県）の井東照博とアドバイス。参加者がリーダーが指導。「飼い主がリードを強く引く散歩を試みず」にならないと犬は言うると、暴れていた犬もだん

だんと、寄り添って進むようになった。ラブラドルの雄（しと）と一緒に参加した市内の主婦（56）は「訓練でずいぶん散歩しやすくなった」と実感する。

（2013年10月27日朝刊13面）

市）は2012年度、問題行動や高齢化などの理由で58匹を引き取った。同会は今後も市内で飼い犬を対象にしたしつけ教室を開く予定。片山会長は「しつけができれば、助かる命は確実に増える。手放す前に、動物愛護ボランティアなどに相談してほしい」と話した。

散歩で飼い主がリーダーシップを取るには▽犬が遡う方向に行こうとしたらリードを引き、飼い主の動きに合わせる。その際、犬の顔や様子は見ない▽犬が言うことを聞いたら、ゆっくりと背中からお尻まででて褒める▽を繰り返す。犬が飼い主の顔を上げながら歩くようになったら、成功。

×
モ

別府市の「里親の会」が、飼い犬の殺処分を防ごうと、市内で初の愛犬しつけ教室を開きました。

①殺処分を依頼される飼い犬の問題行動にはどんなものがありますか。

.....

.....

.....

.....

②別府市の県東部保健所で2012年度引き取った飼い犬は何匹でしょう。

.....

.....

.....

.....

③正しい飼い方、しつけ方の知識を広めることで、不幸な犬が減る理由はどうしてでしょう。

.....

.....

.....

.....